

1.	①	11.	③	21.	③	31.	①	41.	④
2.	④	12.	③	22.	③	32.	③	42.	①
3.	③	13.	③	23.	②	33.	④	43.	③
4.	①	14.	②	24.	①	34.	④	44.	②
5.	③	15.	③	25.	①	35.	③	45.	②
6.	③	16.	②	26.	④	36.	④	46.	③
7.	③	17.	②	27.	④	37.	③	47.	③
8.	①	18.	①	28.	④	38.	①	48.	④
9.	②	19.	③	29.	④	39.	④	49.	②
10.	④	20.	④	30.	①	40.	②	50.	④

1.

解答 ①

【解説】

正解は①「とにかく、いずれにしても」です。副詞「**anyway**」は、他の事実にもかかわらずある陳述が真実であることを示すため、または話題を変えるために使われます。例えば、「**It was raining, but I went out anyway.**」(雨が降っていたけれど、とにかく私は出かけました)。②「どんな道でも」は **any way** です。③「いつでも」は **anytime**、④「どこでも」は **anywhere** です。

◆補足:「**Thanks anyway.**」は便利な表現です。誰かが助けようとしてくれたがうまくいかなかったときに使います。(結果はともかく)とにかくありがとう、という感謝の気持ちを表します。

2.

解答 ④

【解説】

正解は④「**what to do**」です。「疑問詞 + **to** 不定詞」の形で、名詞と同じ働きをします。「**what to do**」で「何をすべきか」という意味になります。「**I don't know what to do.**」(私は何をすべきかわかりません。) ①は「どのようにすべきか」、②は「どこですべきか」、③は「いつすべきか」という意味です。

◆補足:この形は、**know** や **tell, decide** などの動詞の後によく続きます。例: **Please tell me what to do.** (何をすべきか教えてください。)

3.

解答 ③

【解説】

正解は③「think of」です。「～について考える、～のことを思い浮かべる」という意味で広く使われます。「What do you think of my plan?」（私の計画についてどう思いますか？）のように、意見を求めるときにも使います。①「dream of」は「～を夢見る」、②「hear of」は「～の噂などを聞く」、④「approve of」は「～に賛成する」という意味です。

◆補足：think of と think about は似ていますが、think about の方がより注意深く、時間をかけて考えるニュアンスがあります。

4.

解答 ①

【解説】

正解は①「いつでも」です。「anytime」は、「いつでも、いつ…しようとも」という意味の副詞です。例えば、「You can call me anytime.」（いつでも電話していいですよ）。②「時々」は sometimes、③「いつも」は always、④「決して～ない」は never です。

◆補足：「ありがとう」への返事として、「Anytime!」と言うことがあります。これは「どういたしまして」や「いつでも喜んで手伝うよ」というカジュアルな言い方です。

5.

解答 ③

【解説】

正解は③「～について（じっくり）考える」です。「I need some time to think about your offer.」（あなたの提案について考える時間が必要です。）①「～を思いつく」は think of、②「～について話す」は talk about、④「～について心配する」は worry about を使います。

◆補足：think of も「～について考える」と訳せますが、こちらはパッと思いついたり、意見を述べたりする場合に使われることが多いです。think about は、より深く検討するイメージです。

6.

解答 ③

【解説】

正解は③「second」です。順番を表す序数詞で、「2 番目の」という意味です。「This is my second visit to Hokkaido.」（北海道を訪れるのはこれが2 回目です。）①「two」は基数詞の「2」、②「twice」は回数を表す「2 回」、④「double」は「2 倍の」という意味です。

◆補足：second は、時間の単位である「秒」という意味も持っています。文脈によってどちらの意味か判断しましょう。

7.

解答 ③

【解説】

正解は③「drugstore」です。「I need to go to the drugstore to buy some medicine.」(私は薬を買いにドラッグストアへ行く必要があります)。①「bookstore」は書店、②「grocery store」は食料品店、④「department store」はデパートです。

◆補足：イギリス英語では、chemist や pharmacy がより一般的です。pharmacy は、大きな店の中で処方薬が販売されている特定のカウンターを指すこともあります。

8.

解答 ①

【解説】

正解は①「each other」です。問題文は「トムとメアリーはお互いに助け合います」という意味になります。②「the other」は「(二つのうちの) もう一方」、③「another one」は「別のもの」、④「every one」は「みんな、一人一人」という意味です。

◆補足：one another も「お互いに」という意味で使われ、each other とほぼ同じ意味です。一般的に each other は 2 者の間で、one another は 3 者以上の間で使われると言われていますが、現在ではこの区別はあまり厳密ではありません。

9.

解答 ②

【解説】

正解は②「takes」です。動詞「take」には多くの意味がありますが、「It takes + 時間」の形で「(～するのに) 時間がかかる」という意味を表すのは非常に重要な使い方です。問題文の主語 It は三人称単数なので、動詞に s がついて takes となります。「そこに着くのに約 1 時間かかります」という意味です。①「costs」は費用がかかる、③「makes」は作る、④「gives」は与える、という意味です。

◆補足：It takes + 人 + 時間 + to do の形で「(人) が～するのに(時間) がかかる」という文も作れます。例：It took me two hours to finish the homework. (その宿題を終えるのに 2 時間かかった。)

10.

解答 ④

【解説】

正解は④「convenience store」です。「convenience」は「便利」という意味で、「便利な店」、つまり「コンビニエンスストア」のことです。日本語では「コンビニ」と略しますね。①「department store」は「デパート」、②「supermarket」は「スーパーマーケット」、③「shopping mall」は「ショッピングモール」です。

◆補足：口語では、convenience store を corner store と呼ぶこともあります。

11.

解答 ③

【解説】

正解は③「even」です。「Even a child can understand it.」(子どもでさえそれを理解できる)。①「ever」は今までに、またはかつて、②「also」は～もまた、④「only」は～だけ、という意味です。

◆補足：even though は「～にもかかわらず」という意味の接続詞です。例：「Even though it was raining, we went out.」(雨が降っていたにもかかわらず、私たちは外出した)。

12.

解答 ③

【解説】

正解は③「relax」です。「I like to listen to music to relax.」(私はリラックスするために音楽を聴くのが好きです。) ①「release」は「～を解放する」、②「repeat」は「～を繰り返す」、④「reply」は「～に返事をする」という意味です。

◆補足：形容詞形は relaxing (くつろがせるような) と relaxed (くつろいだ) があります。a relaxing bath (リラックスできるお風呂)、I feel relaxed. (私はリラックスしています) のように使い分けます。

13.

解答 ③

【解説】

正解は③「line」です。「Please stand in line.」(列に並んでください。) ①「lane」は道路の「車線」、②「rope」は「ロープ、綱」、④「rule」は「規則」です。

◆補足：「列に並ぶ」は get in line や stand in line と言います。SNS の「LINE」のスペルもこれと同じですね。

14.

解答 ②

【解説】

正解は②「記憶、思い出」です。「I have a good memory for faces.」(私は顔を覚えるのが得意です)や「This trip will be a good memory.」(この旅行は良い思い出になるだろう)。①「会員」は member、③「メロディー」は melody、④「メッセージ」は message です。

◆補足：動詞形は memorize (暗記する) です。例えば、「I have to memorize these English words.」(私はこれらの英単語を暗記しなければならない)。

15.

解答 ③

【解説】

正解は③「魚釣り」です。「fish」(魚、魚を釣る)という単語に-ing がついた形で、スポーツやレジャーとしての「魚釣り」を指す名詞です。「My hobby is fishing.」(私の趣味は魚釣りです。) ①「料理」は cooking、②「仕上げ」は finishing、④「格闘」は fighting です。

◆補足：「釣りに行く」は go fishing と言います。go + -ing の形で「～しに行く」というアクティビティを表すパターンは他にもたくさんありますね (go shopping, go swimming など)。

16.

解答 ②

【解説】

正解は②「私のもの」です。「mine」は「my + 名詞」の代わりをする所有代名詞です。「This is my book.」を「This book is mine.」と言い換えることができますね。「Whose pen is this?」「It's mine.」(これは誰のペンですか?)(私のです)のように、単独で使うこともできます。③「私の」は所有格の my で、必ず後ろに名詞がきます。

◆補足：他の所有代名詞もセットで覚えましょう。yours (あなたのもの)、his (彼のもの)、hers (彼女のもの)、ours (私たちのもの)、theirs (彼らのもの) などがあります。

17.

解答 ②

【解説】

正解は②「(人が) 驚いた」です。「I was surprised at the news.」(私はその知らせに驚いた)。③「(物事が) 驚くべき」は、驚きを引き起こすものを表し、surprising と表現されます (例：「surprising news」)。

◆補足：be surprised at/by ～ という表現は「～に驚く」を意味します。動詞は surprise (驚かせる)、名詞も surprise (驚き) です。

18.

解答 ①

【解説】

正解は①「できるだけ早く」です。「as ~ as possible」で「できるだけ〜」という意味の構文になり、「soon」（すぐに）が入ることで「できるだけ早く」となります。「Please call me back as soon as possible.」（できるだけ早く折り返しお電話ください。）②は as long as possible、③は as soon as、④は if possible という表現になります。

◆補足：この表現は、頭文字をとって“ASAP”と略されることがよくあります。メールやビジネスの場面で頻繁に見かける略語です。

19.

解答 ③

【解説】

正解は③「one of the + 最上級 + 複数名詞」です。この構文は、何かが最高、最大、最も興味深いなどのグループの一員であることを言うために使われます。非常に重要な点は、最後の名詞が複数形でなければならないことです。例えば、「Dazaifu is one of the most famous cities in this area.」（大宰府はこの地域で最も有名な都市の一つです）。他の選択肢は比較を表す異なる方法です。

◆補足：これは非常に一般的で便利なパターンです。「one of my favorite songs」（私のお気に入りの歌の一つ）、「one of the best players」（最高の選手の一人）。最後の複数名詞を忘れないでください！

20.

解答 ④

【解説】

正解は④「a glass of」です。この表現は、特にグラスで提供される冷たい飲み物など、「いっぱい〜」と数えるために使われます。例えば、「Could I have a glass of water?」（お水を一杯いただけますか?）。①「a cup of」は通常、コーヒーや紅茶などの温かい飲み物に使われます。②「a bottle of」は「一瓶の〜」のようにボトルに入った飲み物に、③「a piece of」はケーキや紙などの固形物に使われます。

◆補足：2杯欲しいときは、「two glasses of water」と言い、glass を複数形にします。

21.

解答 ③

【解説】

正解は③「worry」です。「心配する、気にする」という意味の動詞です。worry about ～の形で「～について心配する」と、心配の対象を表すことが多いです。「Don't worry about me.」（私のことは心配しないで。）①「hurry」は「急ぐ」、②「sorry」は形容詞で「気の毒な」、④「work」は「働く」という意味です。

◆補足：名詞としても使え、「心配事」を意味します。例：My biggest worry is the exam.（私の最大の心配事は試験です。）

22.

解答 ③

【解説】

正解は③「病気の、気分の悪い」です。「sick」は、体調が悪いことを表す形容詞です。アメリカ英語では「病気」を意味する一般的な言葉です。例えば、「I was sick yesterday.」（私は昨日、病気でした）。また、特に「吐き気がする」という意味でも使われます。他の選択肢は発音が似ていますが、意味は異なります。

◆補足：イギリス英語では、一般的な病気には ill がよく使われ、sick は吐き気を催す感じを指すことが多いですが、この区別は必ずしも厳密ではありません。

23.

解答 ②

【解説】

正解は②「生活、人生、命」です。「life」は、非常に多くの意味を持つ単語ですが、基本的には「生命、命」や「人生」、日々の「生活」などを指します。「school life」（学校生活）や「enjoy your life」（人生を楽しんで）のように使います。①、③、④はそれぞれ音が似ている単語です。

◆補足：life の複数形は lives（ライヴズ）と、f を v に変えて es をつけます。発音も変わるので注意しましょう。

24.

解答 ①

【解説】

正解は①「exchange」です。「We exchanged e-mail addresses.」（私たちはE メールアドレスを交換しました）。②「excuse」は誰かを許すこと、③「excite」は誰かを非常に幸せで熱狂的な気分させること、④「exercise」は身体活動を行うことを意味します。

◆補足：名詞形も exchange（交換）です。「交換留学生」は an exchange student です。

25.

解答 ①

【解説】

正解は①「expect」です。「I expect him to arrive soon.」(私は彼がもうすぐ到着すると思っています)。
②「accept」は何かを受け取ったり、同意したりすること、③「except」は～を除いてという意味の前置詞、④「explain」は何かを明確に説明することを意味します。

◆補足：名詞形は expectation (期待、予想) です。「I didn't expect to see you here!」(ここで君に会うとは思わなかったよ!) は一般的な表現です。

26.

解答 ④

【解説】

正解は④「yet」です。副詞の「yet」は、主に現在完了形の否定文や疑問文の最後に置かれます。否定文では「まだ～していない」、疑問文では「もう～しましたか」という意味になります。例：「I haven't finished my homework yet.」(まだ宿題を終えていません。)
「Have you eaten lunch yet?」(もうお昼ご飯は食べましたか?)
①「still」は肯定文で「まだ」、②「already」は肯定文で「すでに」、③「just」は「ちょうど」という意味です。

◆補足：not yet で「まだです」という返事としても使えます。

27.

解答 ④

【解説】

正解は④「～に到着する」です。動詞「arrive」は「到着する」を意味し、これは自動詞なので、場所の前に at や in のような前置詞が必要です。arrive at は駅や空港などの特定の地点に使われます。例えば、「We arrived at Shinjuku station at 10 a.m.」(私たちは午前 10 時に新宿駅に到着した)。
①「～から出発する」は depart from、②「～を見つめる」は look at や stare at、③「～を笑う」は laugh at です。

◆補足：市や国のような広い地域には arrive in が使われます。例：「I arrived in Japan last week.」(先週、日本に到着しました)。

28.

解答 ④

【解説】

正解は④「注意深い」です。「Please be careful when you cross the street.」（道を渡るときは注意してください）。①「心配な」は worried、②「親切的な」は kind、③「カラフルな」は colorful です。

◆補足：反対語は careless（不注意な）です。副詞形は carefully（注意深く）です。名詞の care（注意、世話）が語源です。

29.

解答 ④

【解説】

正解は④「vacation」です。主にアメリカ英語で、学校や仕事の比較的長い「休暇」を指します。夏休みは summer vacation、冬休みは winter vacation です。①「break」は、通常、短い休暇期間のことを指します。具体的な期間の定義はありませんが、日中のちょっとした休憩から 1 週間ほどの休暇までを指すことが一般的です。②「weekend」は「週末」、③「vocation」は「天職」という意味で、スペルが似ているので注意が必要です。

◆補足：「休暇中である」は be on vacation と言います。

30.

解答 ①

【解説】

正解は①「discount」です。「Can you give me a discount?」（割引してもらえますか？）のように使います。②「account」は「口座、説明」、③「amount」は「総額、量」、④「announcement」は「お知らせ」という意味です。

◆補足：student discount で「学生割引（学割）」、a 10% discount で「10 パーセント割引」となります。

31.

解答 ①

【解説】

正解は①「～にワクワクしている、興奮している」です。「excited」は人が「ワクワクしている」という感情を表す形容詞で、about を伴うことで、その原因を示すことができます。「I'm excited about the school trip.」（私は学校の旅行にワクワクしています。）②「～に驚いている」は be surprised at、③「～にがっかりしている」は be disappointed with、④「～に満足している」は be satisfied with などを使います。

◆補足：感情を表す形容詞と、それに続く前置詞の組み合わせはたくさんあります。セットで覚えてしまうのが効率的ですよ。

32.

解答 ③

【解説】

正解は③「prepare」です。「We need to prepare for the test.」(私たちはテストの準備をする必要がある)。
①「present」は何かを贈ったり、提示したりすること、②「repair」は壊れたものを修理すること、
④「prefer」は他のものより一つを好むことを意味します。

◆補足：名詞形は preparation (準備) です。be prepared for ~ という表現は「～の準備ができている」を意味します。

33.

解答 ④

【解説】

正解は④「暗い」です。「It's getting dark outside.」(外が暗くなってきた)。
①「明るい」は bright や light で、反対語です。②「危険な」は dangerous、③「難しい」は difficult です。

◆補足：dark は色を説明するのにも使われ、「濃い」という意味になります。例えば、dark blue (濃紺)。
名詞は darkness (暗闇) です。

34.

解答 ④

【解説】

正解は④「something」です。主に肯定文で使われます。「Let's drink something cold.」(何か冷たいものを飲みましょう)。
①「anything」は、主に疑問文「Is there anything I can do?」(何か私にできることはありますか?) や、否定文「I don't know anything about it.」(それについて私は何も知りません) で使います。
②は「何も～ない」、③は「すべてのこと」です。

◆補足：something や anything などを形容詞が修飾するときは、something cold のように、形容詞が後ろに来るのがポイントです。

35.

解答 ③

【解説】

正解は③「important」です。「It is important to get enough sleep.」(十分な睡眠をとることは重要です)。
①「interesting」は「面白い」、②「excellent」は「素晴らしい」、④「impossible」は「不可能な」という意味です。

◆補足：名詞形は importance（重要性）です。It is important for A to do の形で「A が～することは重要だ」という構文もよく使われます。

36.

解答 ④

【解説】

正解は④「～を借りる」です。「Can I borrow your pen?」（あなたのペンを借りてもいいですか？）。

①「～を貸す」は lend で、borrow の反対語です。この区別は非常に重要ですので、覚えておきましょう。②「～を買う」は buy、③「～を壊す」は break です。

◆補足：誰から借りるかを特定する場合は、前置詞 from を使います。「I borrowed this book from the library.」（私はこの本を図書館から借りました）。

37.

解答 ③

【解説】

正解は③「holiday」です。「New Year's Day is a national holiday in Japan.」（元日は日本の国民の祝日です。）①「weekday」は「平日」、②「weekend」は「週末」、④「birthday」は「誕生日」です。

◆補足：イギリス英語では、vacation と同じように長い「休暇」の意味でも holiday が使われます。「Happy holidays!」は、特に年末年始の休暇シーズンに使われる挨拶です。

38.

解答 ①

【解説】

正解は①「go to the doctor」です。the doctor と the がついていますが、特定の個人を指すというよりは、「医者のところへ」という場所を示す慣用的な言い方です。②「meet the doctor」は「(特定の) 医師と会う、面会する」という意味合いが強い表現です。単に診察を受けるというよりは、紹介された専門医と初めて会う場合や、手術前後の面談など、特定の目的で人と会うニュアンスが出ます。

◆補足：非常に似ていて一般的な表現に see a doctor があります。go to the doctor よりも、もっと「診察や診断」という目的に焦点が当たっています。I need to see a doctor about this cough.」（この咳について医者に見てもらわなければならない）。

39.

解答 ④

【解説】

正解は④「for oneself」です。「自分のために」や、他人に頼らず「独力で」という意味を表します。

「You should see it for yourself.」(あなた自身の目で確かめるべきです。) ①「by oneself」は「一人で」、②「of oneself」は「ひとりでに、自然に」、③「to oneself」は「自分だけに、独り占めして」という意味です。前置詞一つで意味が変わるので、注意が必要です。

◆補足：oneself の部分は主語に合わせて変化させます。「私は自分のためにそれをした」なら “I did it for myself.” となります。

40.

解答 ②

【解説】

正解は②「急いで、あせって」です。「I'm in a hurry, so I can't talk now.」(急いでいるので、今はお話しできません)。①「心配して」は worried、③「怒って」は angry、④「喜んで」は gladly です。

◆補足：動詞の hurry は「急ぐ」を意味します。「Hurry up!」は「急いで!」という意味です。

41.

解答 ④

【解説】

正解は④「do one's homework」です。ne's の部分には、my, your, his などの所有格が入ります。

「You have to do your homework every day.」(あなたは毎日宿題をしなければなりません。) ①「do the housework」は「家事をする」、②「do volunteer work」は「ボランティア活動をする」、③「do a good job」は「良い仕事をする」という意味です。

◆補足：homework は数えられない名詞なので、many homeworks のようには言わず、a lot of homework のように言います。

42.

解答 ①

【解説】

正解は①「～するつもりだ、～することを計画している」です。「plan」は「計画する」という動詞で、plan to + 動詞の原形の形で、未来に「～することを計画している」という意味になります。「I plan to go to Canada next year.」(私は来年カナダに行く計画です。) ②「～するのが好きだ」は like to do、③「～する必要がある」は need to do、④「～しようと試みる」は try to do です。

◆補足：plan は名詞として「計画」という意味でも使われます。「Do you have any plans for the weekend?」(週末は何か予定がありますか?)

43.

解答 ③

【解説】

正解は③「graduate from」です。「graduate」は「卒業する」という動詞で、どの学校を卒業したかを示すには前置詞 from を使います。「I graduated from high school last year.」(私は去年、高校を卒業しました。) ①は「～(契約など)を結ぶ」、②は「～から出る」、④は「～を通り抜ける、経験する」という意味です。

◆補足：名詞の「卒業」は graduation、「卒業生」は a graduate と言います。

44.

解答 ②

【解説】

正解は②「服、衣類」です。「clothes」は、人々が身に着けるシャツ、ズボン、ドレスなどの「服」全般を指す言葉です。常に複数形で使われ、a clothe のようには言えないのが大きなポイントです。①「布」は、s のつかない cloth という単語です。③「閉じる」は動詞の close、④「雲」は clouds です。

◆補足：「服を着る」は put on clothes、「服を脱ぐ」は take off clothes、「着替える」は change clothes と言います。

45.

解答 ②

【解説】

正解は②「(総合)大学」です。「He is a student at a famous university.」(彼は有名な大学の学生です。) ①「宇宙」は universe、③「高校」は high school、④「制服」は uniform です。

◆補足：アメリカ英語では、学部レベルの大学を college と呼ぶことも多いです。university は、複数の学部や大学院を持つ、より規模の大きな「総合大学」を指す傾向があります。

46.

解答 ③

【解説】

正解は③「let me know」です。「let A do」で「A に～させる」という意味になり、「私に知らせることをさせてください」、つまり「私に知らせてください」という丁寧な依頼の表現になります。「Please let me know your schedule.」(あなたのスケジュールを私に知らせてください。) ①は「私に行くように言う」、②は「私を行かせてください」、④は不自然な英語です。

◆補足：let は「使役動詞」の一つで、let + 人 + 動詞の原形の形をとります。許可を表す「～させてあげる」という意味で使われることが多いです。

47.

解答 ③

【解説】

正解は③「beside」です。「He sat down beside me.」(彼は私の隣に座った。) ①「behind」は「～の後ろに」、②「between」は「(二つのものの) 間に」という意味です。④の「besides」は、s が一つ付くだけで「～に加えて、～の他に」という全く違う意味になるので、しっかり区別しましょう。

◆補足：by や next to も「～のそばに」という意味で使うことができます。

48.

解答 ④

【解説】

正解は④「grandma」です。「I'm going to visit my grandma this weekend.」(今週末、おばあちゃんの家に行く予定です。) ①「grandpa」は「おじいちゃん」、②「mother」は「お母さん」、③「ma'am」は女性に対する丁寧な呼びかけです。

◆補足：grandmother を略して grandma というように、grandfather は grandpa、mother は mom、father は dad のように、家族の呼び方には親しみを込めた短い形がたくさんあります。

49.

解答 ②

【解説】

正解は②「数、番号」です。「number」は、1, 2, 3...といった「数」や、電話番号(phone number)、部屋番号(room number)などの「番号」を意味します。「What's your phone number?」(あなたの電話番号は何ですか?) ①「名前」は name、③「会員」は member、④「夏」は summer です。

◆補足：a number of ～で「いくつかの～、たくさんの～」という熟語になります。これは many と似た意味で使われます。

50.

解答 ④

【解説】

正解は④「A に B を貸す」です。構造は lend + (人) + (物) です。例えば、「Could you lend me your dictionary?」(あなたの辞書を私に貸してませんか?)。①「A に B を借りる」は borrow B from A です。lend と borrow は反対語で、学習者にとって非常に混同しやすい点です。

◆補足：過去形と過去分詞形は lent です。この構造は lend B to A とも書けます。「I lent my book to him.」 = 「I lent him my book.」
